



## 上野正男先生を偲んで（上野正男名誉教授追悼号）

著者	杉本 昌昭
雑誌名	和光経済
巻	51
号	1
ページ	?-?
発行年	2019-01
URL	<a href="http://id.nii.ac.jp/1073/00004716/">http://id.nii.ac.jp/1073/00004716/</a>

## 上野正男先生を偲んで

杉 本 昌 昭

如月に入り間もない浅春の候、上野正男先生が身罷られたとの報に接しました。

溘焉たるご逝去に驚駭し、ご在職中、温厚篤実なお人柄によって若輩であった私たちへ賜られたご恵顧が髣髴として想起され、哀惜の念が滾滾と湧き出でてまいりました。

先生の考覈された会計学、また広く商学につきましては、不案内の極みにあり、ご丕績をまとめることはできかねます。代わりに、校務をご一緒させていただくなかでの私たちへのお心遣いなどをご披露し、先生をお偲びする誄辞とさせていただきますと思います。

以前、学部ホームページの制作を担当していた時期がございます。ホームページにアップロードするために、学部の行事や授業風景など、いろいろな写真を撮影しておりました。先生のお写真も何葉か撮影し、ホームページに掲載いたしました。その後、プリントアウトしてお持ちすると、そのたびに畏くも非常に慇懃に謝意を述べてくださいました。身が縮む思いです。いつも丁寧に「ありがとうございます」とおっしゃり、謙虚なお姿を範としてお示しくださっておいででした。

講筵を畳まれ、名誉教授となられて以降も、「名誉教授を囲む会」などのお写真をお送りいただきましたが、いつも丁寧なお礼状を頂戴しておりました。また、2014年のことだったでしょうか、和光学園全体にかかわる詳細な財政分析レポートを故あって手許にもっておりましたが、先生はそれをお聞き及びになり、所望したいとのご連絡がございました。すぐにお送りしたのですが、ご退職後も本学のみならず学園全体の先行きにお心を摧かれていると知り、あらためて敬服したことがございました。このときも、レポートをお送りして後、ご自筆の丁寧なお礼のご雲翰を頂戴しております。

先生は、はなはだ年齢が離れた私たちにもつねに温かく接してくださることで、大学教員としてのみならず、およそ人としての慎み深く端正な挙措を穏やかにご提撕くださいました。長き眠りに入られて後も、私たちの瞻仰に変わりありません。

先生のご冥福をお祈り申し上げます。



学部教員との山行（奥多摩 2004 年 4 月 2 日）



和経会（ホテルモリノ新百合丘 2007 年 3 月 13 日）

筆者撮影